

いずみ野線 A 駅 (秋葉台公園東側付近) 周辺 まちづくりニュース

～いずみ野線延伸に向けた状況や地域のまちづくりについての情報発信～

2022 年(令和 4 年)4 月発行

<発行・編集>

藤沢市都市計画課

・電話：0466-50-3537

・FAX：0466-50-8223

・電子メール：

fj-tosikei@city.fujisawa.lg.jp

Topics

- 1) A 駅周辺まちづくり連絡会 (第 7 回について)
- 2) いずみ野線延伸の取組状況について
- 3) 需要創出に向けた取組について

1) A 駅周辺まちづくり連絡会 (第 7 回) について

2022 年(令和 4 年)2 月 4 日に、A 駅の設置が予定されているイトーヨーカドー周辺の自治会等の代表の方などで構成されたいずみ野線 A 駅周辺まちづくり連絡会 (第 7 回) を遠藤市民センターで開催し、意見交換を行いました。今回のニュースでは第 7 回連絡会の内容を中心にご報告します。



2) いずみ野線延伸の取組状況について

連絡会では、いずみ野線延伸の取組状況として、これまでの取組内容の振り返りや、相鉄東急直通線の開業予定などについて引き続き事業の採算性確保に向けた検討が必要な状況について報告を行いました。

H28以降のいずみ野線の延伸・A 駅周辺のまちづくりへの取組の経過

年度	月	内容
H28	4月	交通政策審議会答申にいずみ野線延伸(湘南台～倉見)を位置付け
H29	5月	延伸連絡協議会でA駅とB駅の概ねの駅位置を合意
	10月	延伸やまちづくりの情報共有、意見交換のためいずみ野線A駅周辺まちづくり連絡会の設置
	11月	神奈川県、藤沢市、平塚市、寒川町、慶應義塾大学、相模鉄道による検討組織として延伸検討協議会を設置
H30	6月	延伸検討協議会で湘南台駅～B駅までの鉄道線形等の技術的検証やいくつかのケースごとの概算事業費の算出
	11月	地域住民を対象としたモビリティ・マネジメントの開始 いずみ野線延伸に関するアンケートの実施
R1～		鉄道延伸の事業費削減策や需要創出策の検討 延伸事業に適用できる枠組みや制度の整理・検討



交通政策審議会ではさらに
「事業性に課題」とされる

検討を実施

事業の採算性を確保するためには、
①需要の創出 ②事業費、事業の
枠組みや制度 ③運行に必要な経
費 等のさらなる検討が必要

NEWS

相鉄東急直通線について

2019 年(令和元年)11 月に開業した相鉄 JR 直通線に引き続き、**2023 年(令和 5 年)3 月には、相鉄東急直通線が開業予定**であることが発表されました。都心方面や新幹線の駅である新横浜駅へのアクセスが向上します。



二俣川→目黒 約 38 分

(現在の横浜駅経由と比較して、
約 16 分短縮される見込み)
(相模鉄道ホームページより)

3) 需要創出に向けた取組について

いずみ野線延伸の実現には、さらなる需要創出 = 想定される鉄道利用者を増やすための取組が必要で、「まちづくり」の取組と、鉄道などの公共交通を利用しようとする意識の改革として「モビリティ・マネジメント」の取組があります。

① まちづくり

「まちづくり」の取組では、A 駅周辺の「北部第二（三地区）土地区画整理事業」を実施中であり、B 駅周辺では「健康と文化の森整備事業」の事業化に向けて準備を進めています。

健康と文化の森整備事業(準備中)

ぬねの駅位置(B 駅)

ぬねの駅位置(A 駅)

湘南台駅

ゆめが丘駅

下飯田駅

北部第二(三地区)土地区画整理事業実施中

市内の2つのまちづくりのほか、ゆめが丘駅周辺のまちづくりについてご紹介しました
(相鉄アーバンクワイーズ HP より)

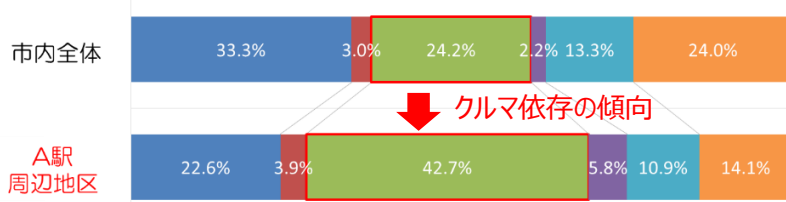
② モビリティ・マネジメント

【過度にクルマを利用する状態から公共交通や自転車などを『上手に』使う方向へと自発的に転換することを促す取組】

地域の皆様が日常的に公共交通を利用することが、鉄道延伸の事業性を向上させ、延伸実現と便利で魅力あるまちの実現につながっていくことから、モビリティ・マネジメント（MM）の取組を進めています。

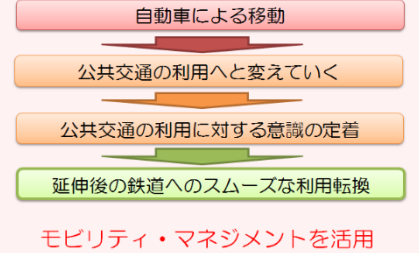
延伸地域の代表交通手段の分担率

H30 東京都市圏パーソントリップ調査の分析結果より



代表交通手段→一つのトリップでいくつかの交通手段を乗り換えた場合、その中の主な交通手段

ライフスタイルの転換（自動車から公共交通へ）



小学校での MM 教育

一人ひとりの移動手段等を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくための自発的な行動をとれるような子供たちを育てることをめざした教育



住民・企業対象の MM

- 動機付け冊子の配布などによる意識付け
- (仮) かしこいクルマの使い方を考えるセミナー
- 市内企業・事業所に対するモビリティ・マネジメント（エコ通勤への転換に向けて）



「動機付け冊子」は市役所総合窓口、市民センター、警察署にて配架中！！

MM につながる民間の取組

- 駅敷地内へのシェアサイクルポート設置（相鉄）
- MaaS*アプリ Emot（小田急）
- 小児 IC 運賃一律 50 円（小田急）



MaaS(マース: Mobility as a Service) : サービスとしての移動。モビリティを単なる交通手段ではなく、自動運転や AI などのさまざまなテクノロジーを掛け合わせた、次世代の交通サービスとして捉えた言葉。

第 7 回連絡会の主なご意見

- 自家用車から公共交通を使うというテーマはいいことだと思うが、電車が早く開通することを願う。
- 高齢になり公共交通を利用しなければならなくなるが、車に比べると毎回お金がかかることがネック。マッサージ券は使わないので、バスの割引など選択肢が増えるとよい。
- 平塚、寒川のツインシティの状況なども情報発信してほしい。